

留学生
サポーター

RA
レジデント・
アシスタント

ガイドブック



フェリス女学院大学
国際センター・国際課

1

はじめに：フェリス生による留学生支援と国際学生交流会館

国際学生交流会館設置の目的

フェリス女学院大学は、留学生が安全に生活し勉学に励むことのできる環境を提供すること、本学の教育理念“*For Others*”に基づき、相互理解と協力関係を深めることを目的として「国際学生交流会館（以下、会館という。）」を設置しています。会館は、株式会社共立メンテナンスが管理運営する「ドーム湘南台 Lei」内にあり、主に交換留学生が入居しています。

交換留学生の中には、日本での生活も一人暮らしも初めてという学生もいます。留学生が日本の生活に慣れ、快適に過ごせるよう共同生活を支援し、国際交流に繋がる企画の運営に意欲的なレジデント・アシスタントを募集します。

2

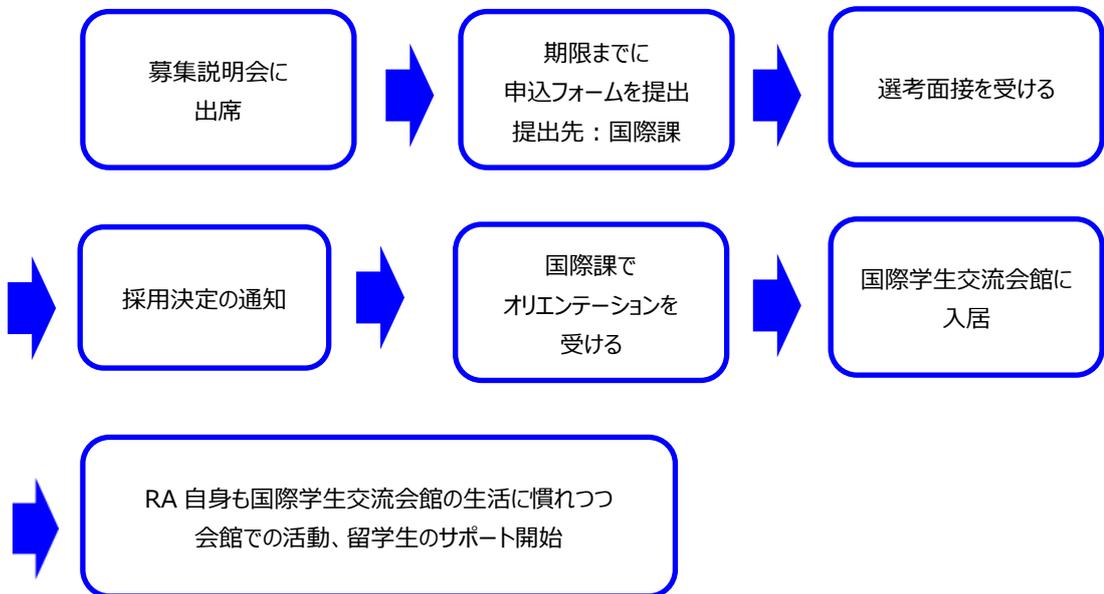
RA：レジデント・アシスタントとは

Q

RAは、まず何をするのでしょうか？

A

【流れ】



【基本】

主な役割は、会館で受入交換留学生が共同生活を立ち上げやすくするための支援。会館の規則や安全・衛生管理、共同スペース利用方法といった実務的な面での手助けや他の会館生（居住者）との交流を橋渡しするなど、交流活動に協力していただきます。

(1) 説明会

■レジデント・アシスタント（以下「RA」という）に関心のある学生対象の募集説明会に出席してください。

(2) 申込フォームの提出

■期限までに Google フォームから応募してください。RA に応募したきっかけや RA 採用後に取り組んでみたいことなど、志望動機を記入してください。

■これまでの実績では、書類だけで不合格にすることはありません。選考面接に進むうえで参考にするものですので、しっかり書いてください。

(3) 選考面接

■国際部長、国際センターの先生、国際課職員により、面接形式で志望動機などを質問します。

(4) 採用決定の通知

■選考面接の結果を Ferris Passport からお知らせします。

(5) 国際課でオリエンテーションを受ける

RA としての活動開始にあたり、フェリスにおける留学生支援について基本的な説明をします。

支援の対象となる受入交換留学生は、前期（3 月末）または後期（9 月初め）に渡日して入居となる留学生です。

皆さんにとっても初めての会館生活となりますが、それ以上に新生活を開始する留学生に対し、どのような支援が必要か学びます。

(6) 会館に入居する

RA としての活動前に、まず RA 自身が会館の生活に慣れていただく必要があります。

定められた日までに入居してください。

下見するなどして、持ち込む物品や荷物、衣類などの量を見積もっておくとよいでしょう。

(7) 会館での活動、留学生のサポート開始

上記(5)のほかに会館（湘南台）でのオリエンテーションもあります。

寮長さん、管理会社（共立メンテナンス）からの説明を留学生と一緒に聞いていただきます。

会館のルールや近隣の状況について、徐々に知識を増やしてください。わからないことは遠慮なく先輩 RA や国際課に質問してください。

そして、次は受入交換留学生に説明できるようになってください。

【場所】国際学生交流会館・ドームー湘南台 Lei （P.7~P.8 参照）

Q RA の時給や待遇はどのようになっていますか。

A (1) 時給

学部生：時給 1,230 円、大学院生：時給 1,230 円（26/4/1 から 1,280 円）深夜（22:00 以降）や日曜日の活動は労働基準法に基づき割増賃金が支払われます。

(2) 大学からの補助

1 宿舍費に関すること

食費を除く「室料」と「月間管理費」の半額（約 28,400 円/月）を大学が補助します。

大学の補助額について：

「国際学生交流会館・ドミー湘南台 Lei 概要」を参照してください。（P.11～12）

Q RA の収入は 1 か月あたりどれくらいになるのでしょうか。

A (1) 活動時間と収入

レジデント・アシスタントの 1 か月の活動時間は、概ね次のとおりです。

受入留学生の来日に係るサポートが多い時期（4 月、9 月）と他の時期では異なります。

【例】4 月、9 月の活動時間 35 時間程度 時給 1,230 円×35 時間 = 43,050 円。

その他の月の活動時間 20 時間程度 時給 1,230 円×20 時間 = 24,600 円。

※RA 業務に支障がない範囲でアルバイトをすることは可能です。

アルバイトをする予定がある場合は必ず事前に国際課へ相談してください。

(2) 活動時間として含まれるもの

1 国際課との月例会出席

2 会館での連絡会開催

3 留学生に関する報告、連絡、相談のために要した時間（メールチェック、留学生間の意見収集など）

4 そのほか、会館内外での交流活動のための準備（買い出しや企画）、実施（調理やポスター製作）に要した時間も賃金の対象とします。

活動実績（月日、時間）はこまめにスケジュール帳に記録しておき、「RA 活動報告書」で報告してください。

(3) 振込方法、時期

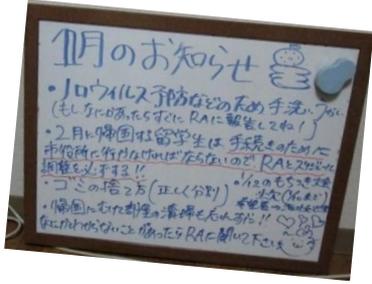
「RA 活動報告」提出の翌月末に、指定口座に振り込まれます。

(4) その他

RA として大学側が不適切と判断した場合は、内規に基づき審議を経て委嘱を解く（解任する）場合があります。委嘱が解かれた場合、寮費は一般料金への切り替えとなります。もしくは速やかに本物件を明け渡して（退館して）いただくこととなります。

Q RAとして活動するとは、具体的にはどういことですか。

A RAの主な活動内容

時期	内容、主な事例
前期：4月 後期：9月	<p>受入交換留学生の来日時のサポート</p> <p>① 個室備品の使用説明、ドームー湘南台 Lei 内設備の案内、共立メンテナンスのオリエンテーション補助など。</p> <p>② 湘南台市民センターでの手続き（住民登録・国民健康保険の加入・解約）の補助、防災センター見学（起震体験）の案内など。</p>
前期：8月 後期：2月	<p>受入交換留学生の帰国時のサポート</p> <p>帰国に伴う日用品処分の指導、国際小包の送付の補助、個人契約（Simカード）のキャンセル確認など。</p>
月1回	<p>会館内での「連絡会」の実施</p> <p>主催：RA</p> <p>対象：入居者全員</p> <p>内容：</p> <p>① 共同生活のルール （洗面所、脱衣場等共同スペースの利用、共同キッチン等の衛生環境維持、ゴミ分別、騒音に関するトラブルなど）を説明する。</p> <p>② 季節に応じて、日本の気候や健康に関する注意事項を説明する。</p> 
月1回	<p>国際課との「月例会」に参加</p> <p>主催：国際課</p> <p>内容：</p> <p>会館での課題（例：施設・設備面で困っていること）や留学生の健康状態、要望（例：宗教上の理由による食事制限）などを報告していただきます。国際課からは、必要に応じて管理会社への要望・交渉など連携して解決にあたります。</p>
月1回	<p>「RA 活動報告書」の提出</p> <p>提出先：国際課</p>
通年	<p>留学生の状況把握</p> <p>RA は、留学生の心身の健康状態に心配な点などないか、最も身近で発見しやすい立場とも言えます。何となく元気がない、食事の時間に部屋から出て来ない、帰りが遅い日が続く、といったことに気づけるのは RA かもしれません。</p> <p>留学生の中には自分から相談するのが苦手な人もいます。特別な理由や企画でなくても、留学生と週2回、会館の食堂で各1時間程度、夕食の時間をともにするなどして、留学生が話しやすい環境をつくってみてください。1人のRAに集中しないように、シフトを調整し、時間と都合をやりくりしてください。</p>

時期	内容、主な事例
通年	会館における交流活動の企画、運営等
前期：4月上旬 後期：9月下旬	在館生と新入館生の顔合わせ
前期：4月下旬 後期：9月下旬	ドミー湘南台 Lei 歓迎会の運営補助 (会館生と一般寮生との交流を橋渡りする。)
随時	交流会の開催 開催場所：「会館」の施設内でも「会館」外でも OK。 内容：常にオリジナル企画である必要はなく、既存（学外の団体主催）のイベント参加でも構いません。 RA だけで企画・運営・実行のすべてを担う必要はありません。留学生からの要望やできそうなことをヒアリングしたり相談したりして、協力を得て計画する過程が大切です。
GW、夏休み、 年末年始、春休み	寮生が帰省などで一時的に少なくなる時期は、会館に留まる留学生（帰省や旅行に出かけない留学生）が疎外感を募らせていないか気にかけて、ともに食事をとるなどしてください。
緊急時	留学生の怪我、体調不良発生時には近隣病院への付き添い 寮長・国際課への報告など。
依頼があったとき	募集、広報活動に関すること 例) RA 募集説明会への出席、大学公式 Web サイト、学内広報誌（「キャンパスニュース」「F」「奨学会報」など）への取材協力など。

(1) 過年度の活動実績

レジデント・アシスタントの活動は、次のサイトからアクセスできます。



(3) 費用

寮費（月額） = (2) + (3) + (4)

- 1 か月の寮費（光熱費含む） : 59,310 円*
- 寮費の支払い方法 : 入寮後のオリエンテーションで説明

	内容	額
(1)	建物維持費	3,000 円 / 入寮時のみ
(2)	室料等	48,200 円 / 月
(3)	電気料金（税込）	7,150 円 / 月（基本料金）
(4)	通信設備費（税込）	3,960 円 / 月（基本料金）
	合計 (2)+(3)+(4)	59,310 円*
	* 入寮時 (1)+(2)×2 か月	99,400 円

上記 (2) 「室料等」の内訳

②室料（食費相当額差引後）と③月間管理費の 1/2 をフェリス女学院大学が補助しています。

	内訳	法人契約料金	フェリスによる補助額	補助後の額
1	室料（食費相当額）	19,800 円 / 月	-	19,800 円 / 月
2	室料（食費相当額差引後）	29,800 円 / 月	14,900 円 / 月	14,900 円 / 月
3	月間管理費	27,000 円 / 月	13,500 円 / 月	13,500 円 / 月
	合計 / 月	76,600 円 / 月	28,400 円 / 月	48,200 円 / 月

※ 一般入寮の場合、月額 76,600 円の室料が、48,200 円になります（電気料金・通信設備費別）。



Q 日常の活動を教えてください

- A
- ・RA 間でシフトを組んで、週 2~3 日、1 日に 1~2 時間程度、活動しています。
 - ・夕食を一緒に食べながら留学生の状況を把握したり、留学生からの相談を受けたりしています。
 - ・家族や仲の良いお友達と離れて暮らす留学生の話し相手になることを心がけました。

Q 交流会ではどんなことをしたのですか？

- A
- ・実家から届いた食べ物をみんなで調理するなど、郷土料理を紹介しました。
 - ・留学生の提案で、鍋パーティを開きました。イスラム教徒の学生も一緒に食事ができるよう、3 種類の鍋を準備しました。
 - ・留学生が帰国する前には、不要になる日用品を譲る会を開きました。夕食終了後、食堂で行ったので帰寮生も引き取りに協力してくれました。パスタソースなどの食料品が人気でした。

Q 自分の時間を持てますか？

- A
- ・交換留学生が来日するのは長期休暇期間の 3 月末、9 月初旬です。来日後 1 週間は RA の活動に多くの時間を使います。新学期が始まる頃には留学生も自立するので、自分の時間を確保できるようになります。
 - ・RA として活動する時間を留学生に周知し、終了時間になったら個室に引き上げました。
 - ・勉強は大学の図書館を利用するなど、勉強と RA の活動を区別するようにしました。

Q 大変だったことは何ですか？

- A
- ・「深夜の電話の音が大きすぎる」と生活騒音について注意しなければならないとき、勇気が必要でした。
 - ・久しぶりに家族と話すと気分が高まることは理解できるので、相手の立場を尊重し、共感したうえではっきりと説明すれば伝わると学びました。
 - ・生活スタイルや時間の感覚が違う留学生に共同生活のルールを教えるのが大変でした。「直ぐに」と言うと日本人なら 30 分以内には対応しますが、留学生は数時間と認識していることが分かり、具体的に時間を示す工夫をしました。
 - ・一方では、留学生から「日本人はシャワーの利用時間が長い」と指摘を受け、海外では節水に対する意識が高いことを教えられました。
 - ・言葉の面での苦労はありませんでしたが、留学生が「わかった」「大丈夫」と答えても本当は理解していないことが分かったときは、留学生が何度でも聞きかえせる環境を作ってあげたいと思いました。

Q 良かったことは何ですか？

A

- ・海外に友人ができたこと。中国語、韓国語は話せないのですが、案内するとの声に励まされて韓国や台湾への旅行もできました。行動範囲も広がり、現地のことをもっと知りたくなりました。
- ・インドネシアの留学生のおかげで宗教について考えるようになり、イスラム教や中東の文化、民族に関する科目を履修しました。フランス留学中に発生したテロについても、基礎知識があったので授業での議論に参加できました。
- ・留学生からは自分の意見を求められることが多いので、指名されなくても授業中に積極的に発言できるようになりました。

7 フェリスの留学生

外国人留学生のサポートの種類、活動内容について Q&A 形式で紹介します。

Q フェリスの留学生とは、どのような方たちですか。

A

協定校から半年間または 1 年間フェリスで学ぶ「交換留学生」と日本人学生と同じように学位取得を目的として 4 年間学ぶ「私費留学生」が在籍しています。

	交換留学生	私費留学生
入学の形態	フェリスの協定校：中国、韓国、台湾、フィリピン、インドネシア、ドイツ、スペイン、スロバキアなど	フェリスの留学生入試、編入学、大学院入試等により入学
入学の時期	4 月または 9 月	4 月
在学期間	半年間または 1 年間	学部生は 4 年間
日本語を学んだ経験	1～2 年程度	1～2 年 + 日本国内の日本語学校で 1 年間程度
日本の生活	来日が初めてというケースがほとんど	日本での生活経験あり。
大学での生活	本国の大学（協定校）で修学経験あり。	大学生活が初めてというケースが多い。
住まい	全員が国際学生交流会館・ドーミー湘南台 Lei（以下、会館）に居住。	賃貸アパートなど「会館」以外のケースが多い。

Q	留学生サポーターには、どんな種類がありますか。どう違うのですか。			
A	メンター、チューター、LA、レジデント・アシスタントの4種類があり、それぞれ役割が分かれています。			
		メンター	チューター ランゲージ・アシスタント(LA)	レジデント・アシスタント (RA)
	主な役割	留学生の学生生活をフォローする。留学生にとって最初の友達。	留学生が履修している授業の解説、学習上のアドバイス。 ・チューターは「日本語以外の授業」 ・LAは「大学で学ぶ日本語」	受入交換留学生と同じ会館に入居。共同生活に必要なルールの説明や手助けなど。
	なるには	説明会（年2回）に参加して応募する	公募、先生からの指名 国際課から依頼されたらぜひ引き受けてください（随時）	説明会（年2回）に参加して応募する
	謝金	なし*	あり	あり
*例外として交換留学生在が来日した日の出迎え（空港から会館への送迎）は賃金、交通費が支給されます。				
Q	留学生は、RA、メンターやチューター・LAのほかに誰から、どのようなサポートを受けられるのですか。			
A	先生方、担当部署から次のような点で支援、指導を受けられます。			
		所属	担当・役割	場所
	教員	国際センター講師	「大学で学ぶ日本語」「日本事情」主に日本語学習、生活上の支援・指導。	7号館4階 7435号室
		アカデミック・アドバイザー	留学生ごとに割り当てられています。履修計画全体の指導・助言。	各個人研究室
部署	国際課	<input type="checkbox"/> 在留資格 <input type="checkbox"/> 在籍確認 <input type="checkbox"/> 奨学金 <input type="checkbox"/> 会館 <input type="checkbox"/> 留学生サポーターの募集、採用	CLA棟2階	



受入交換留学生は全員「会館」に居住します。
 共同生活におけるサポートは、RA（レジデント・アシスタント）から受けられる、と案内しています。

	交換留学生	私費留学生
健康診断	メンターが付き添う	自分で対応
市役所の手続き 国民健康保険	国際課で説明、RA が支援	日本での生活経験があるので、 自分で対応
銀行口座開設	国際課から説明	開設済みのケースが多い
SIM カード契約	渡日後に個人で契約 帰国時の解約の確認など、 必要に応じて支援	契約済みのケースが多い
日常の買い物	会館周辺は RA が案内	居住形態（自炊の場合など）、 ケースに応じて必要なアドバイスを
学内の Wi-Fi	メンターが支援	メンターが支援
サークル活動	加入できる	加入できる
チューター利用	できる	できる

RA の役割は会館での共同生活支援が中心で、キャンパスでの生活支援はメンター、履修上の支援はチューター・LA、と役割が分かれています。RA がすべての支援をしなければならないわけではありません。相談内容によってはメンターやチューター・LA の利用を促すようにして、過重な負担とならないよう（RA に集中しないよう）にしてください。

交換留学生、私費留学生ともにサークル活動に加入、チューター・LA の利用ができます。

留学生がサークルやチューターに興味がありそうだったら

✦一緒に担当者や窓口を訪ねる、など相談しやすいようフォローしてください。

履修上の問題を抱えていると思われるときは

✦国際センター講師または国際課（CLA 棟 2 階）に知らせてください。

留学生サポーター レジデント・アシスタント ガイドブック

2026年1月28日発行

フェリス学院大学 国際課

〒245-8650 横浜市泉区緑園 4-5-3

TEL:045-812-9129

FAX: 045-812-0021

Mail : kaigai@ferris.ac.jp

URL: <http://www.ferris.ac.jp>